

産婦人科医院の開設を 支援します！

〔産婦人科医院開設補助金のご案内〕

現在、紀の川市内には、分娩のできる医療機関がないことから、産科医療施設の整備が必要となっています。

紀の川市では、安心して子どもを産み育てる環境づくりを推進するため、市内に分娩を取り扱う産婦人科医院を開設しようとする医師または医療法人に対し、開設に要する費用の一部を助成します。

開設にかかる補助対象経費の2分の1

最大1億円
支援します！

対象 要件

以下の要件のすべてに該当する医師又は医療法人

- ①市内に分娩のできる19床以下の入院施設を有する産婦人科医院を開設し、継続して10年以上産科医療を実施すること
- ②産婦人科又は産科の臨床経験を5年以上有すること（医療法人は、管理者が当該経験を有すること）
- ③市の母子保健事業、子育て支援事業と連携した取組を行い、地域医療活動を積極的に行うこと

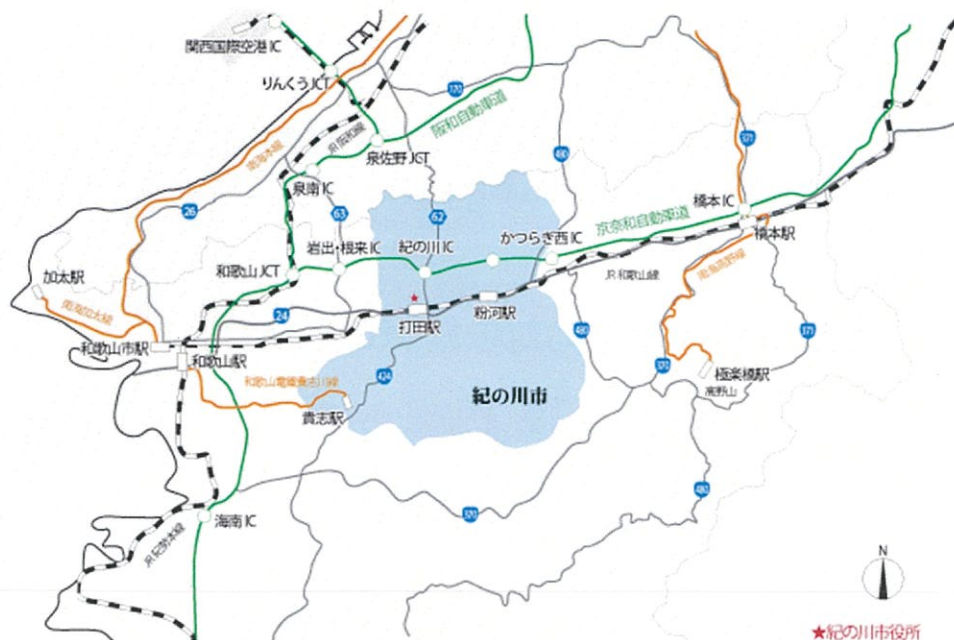
補助 金額

補助区分	補助対象経費	補助金額
土地建物取得費・改修費	土地及び建物の取得に係る経費並びに増築又は改修に係る経費	経費の1/2以内 (上限1億円)
本体工事費 (新築)	建築主体工事費、電気設備工事費、機械設備工事費(他の診療科に係るものを含むときは産科及び産婦人科に係るもののみ対象)、共通仮設費(外構工事に係るものは除く。)、設計費、監理費	
医療機器・備品購入費	産科医療の業務に必要な医療機器及び備品の購入に要する経費	

紀の川市ってどんなところ？

「住み続けたい街ランキング」和歌山県第1位 ※2021年民間調査による

和歌山県の北部に位置する紀の川市は、年間の平均気温が約17℃と1年を通じて温暖で、多様な農作物を栽培しており、特に桃や柿、イチゴ、キウイなどフルーツの産地として知られています。関西国際空港まで車で40分、和歌山市まで車で30分とアクセスもよく、大阪府南部や和歌山市の通勤圏内で人口約6万人のまちです。



「医聖 華岡青洲」生誕の地

全身麻酔による乳がん摘出手術を世界で初めて成功させた、紀の川市が誇る「医聖華岡青洲」生誕の地です。紀の川市は、平成20年から乳がん検診受診の啓発活動を実施する「紀の川市ピンクリボンキャンペーン推進本部」を立ち上げ、乳がん検診受診率の向上に努めると共に、医療・健康分野だけでなく様々な連携のもと、市全体で「医聖華岡青洲」生誕の地として取り組んでいます。



安心して子どもを産み育てられるまち

小中学校給食費 無料！

紀の川市では子育て支援施策として、市内小中学校の給食費を無料化しています。

子ども医療制度が全国有数の充実度！

子どもの疾病の早期発見や親の経済的負担の軽減のため、18歳までの医療費を無料化・さらに24歳までの入院費も無料化（所得制限などの条件あり）しています。

出産・子育てにかかる給付金制度が充実！

妊娠・出産した方を対象に「出産応援給付金」「子育て応援給付金」として計10万円を給付、また赤ちゃん応援給付金としてさらに10万円を給付など、出産に係る経済的負担を軽減するための施策が充実しています。



45歳までの住宅取得に最大50万円！

和歌山県内で子育て世代の転入が多い紀の川市。さらに多くの若年層を呼び込むため45歳までの方が市内で住宅を新築・購入された場合、最大50万円を支給しています。



若年層の奨学金返還を支援！

約半数の大学生が奨学金を返済しているなか、29歳までの若年層に対し奨学金返還金の1/2（最大12万円）を助成しています。

Good Life
with Kinokawa

紀の川市「暮らし・移住情報」メディア



紀の川市の産科医療

産科の配置状況

地域の中核医療機関である公立那賀病院は、産婦人科の医師不足により、R2年9月末で分娩が休止となり、紀の川市内で分娩ができる医療機関がない状況が続いています。
隣接の岩出市においても、出産ができる医療機関がないため、多くの妊婦さんは、近隣の和歌山市内や、橋本市内まで通院している現状です。

出生数の推移

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
那賀保健医療圏	830	804	760	743	701	715	698	637
紀の川市	357	359	339	332	290	311	292	291
岩出市	473	445	421	411	411	404	406	346

地域の医療機関



公立那賀病院



和歌山県立医科大学附属病院
(市中心部から車で45分)

お問い合わせ

紀の川市市民部健康推進課

〒649-6492 和歌山県紀の川市西大井338

TEL : 0736-77-2511 MAIL : k070700-001@city.kinokawa.lg.jp

